

第21回 中国教育オーディオロジー研究協議会

夏季研修会 開催要項

(二次案内)

中国教育オーディオロジー研究協議会の夏季研修会も、今年で第21回を迎えることとなりました。コロナ禍でのリモート形式での研修会を昨年度から集合開催（講演会のみリモート参加可）で実施しています。ぜひ、聴覚障がい教育に携わる中国地区の仲間との交流の場にもしていきましょう！

講座は 4×2 の計 8 講座を準備したいと思います。素敵な外部講師の先生方による講座も計画しておりますので、ご多用中とは存じますが、どうぞ奮ってご参加ください。

- 1 期 日 令和7年8月4日(月)・8月5日(火)
- 2 主 催 中国教育オーディオロジー研究協議会
- 3 後 援 中国地区聾学校長会
島根県教育委員会
日本教育オーディオロジー研究会
(公益財団法人)日本教育公務員弘済会島根支部(予定)
- 4 対象者 聾(聴覚特別支援)学校、難聴特別支援学級、通級指導教室(難聴・言語)の教職員、
教育オーディオロジー関係者
- 5 会 場 【本会場】島根県立松江ろう学校
【サブ会場(2日目講演会のみ)】中国地区の聾(難聴特別支援)学校内数か所
【個人参加(2日目講演会のみ)】ご自宅等で通信速度が可能な限り速く、安定した場所が
望ましい。(ポケットルーターやスマートフォンでの参加はできるだけ避けて下さい。)
- 6 参加費 ①集合参加・・・2,000円(資料冊子あり※1)
②リモート参加のみ・・・1,000円(講演会資料のみ※2)
(↑リモートは、2日目講演会のみです。)
※1 資料冊子は全講座資料と講演会資料を綴じ合わせたもの
※2 講演会資料のみ pdf 版をデータ送信

7 講演

「聞こえない・聞こえにくい子供たちの学びについて考える(仮)」

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 村上 学 先生

8 日程(予定)

1日目	令和7年8月4日(月) ※集合開催 会場:島根県立松江ろう学校			
12:45 13:15	受付			
13:15	開会行事(各会場)			
	A	B	C	D
講座Ⅰ 13:30 14:50 (80分)	きこえない・きこえにくい人の心理について 浜田ろう学校 支援部 石見養護学校 若林沙紀先生	幼稚部の取組 岡山聾学校 教諭 奥山純代先生	小学生・中学生が自分の聞こえを学ぶ 広島南特別支援学校 前主幹教諭 品田俊弘先生	クイズで学ぶ聴覚障害教育のあれこれ(その2) 同志社大学 教授 中瀬浩一先生
講座Ⅱ 15:10 16:30 (80分)	中学部の取組 山口南総合支援学校 教諭 鷺尾翔子先生 針間智子先生	幼稚部から小学部へのわたりの指導 元松江ろう学校校長 やすぎこども園園長 福島朗博先生	デフ・フッドの視点での授業づくり(自立活動) 鳥取聾学校 教諭 尾田将史先生	補聴器調整の基礎と特性表の読み方 同志社大学 教授 中瀬浩一先生

※1日目終了後、松江駅周辺にて懇親会を予定しています。

2日目	令和7年8月5日(火) ※集合開催・リモート
9:10 9:30	総会 ・運営や会則について
講演 9:40 11:40 (120分)	「聞こえない・聞こえにくい子供たちの学びについて考える(仮)」 文部科学省初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官 村上 学 先生
11:40	閉会行事

9 参加申し込み 締め切り 7月 4日(金)

右記 QR コードを読み込んで必要事項を記入の上、お申し込みください。
参加費の振り込み方法や ZOOM によるリモートの ID、パスコード等必要事項については、
申し込み後、改めて事務局よりメールで連絡をいたします。



☆第21回夏季研修会についての最新情報は当会ブログにて随時お知らせしますので、ご覧ください。

中国教育オーディオロジー研究協議会ブログ <https://chu-eaa.normanet.ne.jp>

※自然災害等で実施ができない等の連絡も、ブログに掲載させていただきますので、併せてご確認ください。

10 会場案内



JR 松江駅から

- ◇6番乗り場で、一畑バス「51 恵曇」行に乗車
 ==>②「佐太神社前」バス停下車(30分)== 徒歩(1.4km
 約20分) ==> 松江ろう学校着
- ◇タクシーで約20分

一畑電車 松江しんじ湖温泉駅から

- ◇一畑バス・松江市営バスで「県民会館前」経由便に乗車 →
 ①「県民会館前」下車(5分)⇒一畑バス「51 恵曇」行に乗換
 ⇒以下上記
- ◇タクシーで約10分

11 研修講座の内容紹介

講座Ⅰ 13:30~14:50	
きこえない・きこえにくい人の心理について~擬似体験・当事者体験談~	難聴擬似体験では、きこえない環境下で、配慮や工夫が「ある」と「ない」時の気持ちを体感します。体験談では当事者の学齢期の心の揺れ動きについて語ってまいります。きこえない子どもたちの気持ちを一緒に想像してみましょう
幼稚部の取組	岡山聾学校幼稚部の言語指導について紹介させていただきます。在籍数が減少する中での取組、そして今までの継承されてきた取組などを中心にご紹介できたらと考えています。
小学生・中学生が自分の聞こえを学ぶ~思春期を乗り越えるために~	聞こえを「見える化」し、聞こえにくさを理解・受容することで前向きになれるよう小学生・中学生を支援します。講師の工夫を紹介しますので、試してみましょう。
クイズで学ぶ聴覚障害教育のあれこれ(その2)	昨年に引き続き、聴覚障害教育の知識や小ネタをクイズ形式で楽しんでいただく講座です。簡単なものから超難問まで、いろいろな分野のクイズを用意して、みなさんの参加をお待ちしています。さて、何問正解できるでしょうか?
講座Ⅱ 15:10~16:30	
中学部の取組	『発音発語の学習』、『重複障害児の将来を見据えた支援』をテーマに2つの実践例をご紹介します。また、皆さんと様々な情報交換ができればと思います。よりよい支援について、ぜひ一緒に考えていきましょう。
幼稚部から小学部へのわたりの指導	乳幼児期はコミュニケーションによる人間関係を土台にしてやりとりを築いていきます。その中で、きこえない子どもにとって確かな視覚情報となる読み書きの力に早期から取り組み、学童期に向け日本語の習得に繋げていくようなわたりを考えていきたいと思っています。
デフ・フッドの視点での授業づくり(自立活動)	セルフアドボカシースキルを高めるには、自己理解だけでなく、デフ・フッドの視点での授業づくりも欠かせません。デフ・フッドの定義やデフ・フッドの視点を導入した授業事例を学び、中高校生を対象とした自立活動の授業力を高めます。
補聴器調整の基礎と特性表の読み方	本講座では補聴器調整の考え方の基礎を学びます。補聴器の調整はどのように行っているのかを特性表の読み方と合わせて学びましょう。

12 問い合わせ *お問い合わせは電話またはメールでお願いします。

〒690-0121 島根県松江市古志町191-6 島根県立松江ろう学校内
 中国教育オーディオロジー研究協議会事務局 石橋 優子 宛て
 電話 0852-36-7222 メール ishibashi-yuko@edu.pref.shimane.jp